

IV 救 急 編

1 救急活動概況

当市は昭和39年7月の救急業務開始以来、社会経済活動の進展に伴い年々その体制が整備され、現在8救急隊（うち、1隊は白糠町消防事務委託）を運用し、市民の生命・身体を守る上で必要不可欠な行政サービスとして定着している。

そのような中、救急救命士制度の導入や救急隊員の行う応急処置等の範囲の拡大に伴い、全救急隊に高規格救急車の導入および救急隊員の教育訓練体制の整備を図るなど、救急業務の高度化の拡充に取り組んでいるところである。また、令和3年度からは「指導救命士を中心とした教育体制」の運用を開始。本部研修と連携した効果的な教育体制を確立し、救急隊全体のさらなるレベルアップを図っている。

今後は、関係機関との連携を強化するとともに、市民に対する応急手当の普及啓発活動を推進し、より一層の救命効果の向上を目指す。

また、救急需要の増大に対応するため、様々な角度から調査・研究を重ねた結果、令和6年度から平日日勤時間帯に活動する救急隊を増隊することとなった。

- ① 救急救命士の育成・・・有資格者数77人
- ② 市民による応急手当普及啓発活動の推進
「応急手当の普及啓発活動の推進に関する要綱」（H19.10.11 施行）
- ③ メディカルコントロール体制の構築
釧路・根室圏メディカルコントロール協議会の設立（H15.3.26）
- ④ 医師による包括的指示下での除細動の実施（H15.8.1 開始）
- ⑤ 気管挿管可能な救急救命士2名を養成し、高度な救急救命処置が行える体制を整備（H18.8.1 開始）
- ⑥ 処置拡大2行為可能な救急救命士4名を養成し、高度な救急救命処置が行える体制を整備（H27.11.1 開始）
- ⑦ ビデオ硬性喉頭鏡による気管挿管可能な救急救命士4名を養成し、高度な救急救命処置が行える体制を整備（H27.12.17 開始）
- ⑧ 一般市民が行うAEDを用いた心肺蘇生法の普及に努め、救命効果の向上を図った。
- ⑨ 救急需要抑制対策として、オリジナルポスターの作成、SNSを使用した広報、町内会の回覧板、市のホームページ、マスメディア等を活用し、救急車の適正利用をPRした。
- ⑩ 救急現場において、勇気を出して応急手当を実施していただいた方に対し、「救命の勇者カード」を進呈する事業を開始（R5.9.9 開始）

2 救急に関する主な統計

令和5年の救急出動件数は11,571件、搬送人員10,363人で、前年に比べ出動件数においては621件(5.6%)の増加、搬送人員においても401人(4.0%)増加した。また、1日の平均出動件数が31.7件で、管轄区域内の住民15.7人に1人が救急車を利用したことになる。

出動状況等、その他救急に関するデータについては表1から10のとおりである。

表1 年次別救急出動状況の推移(過去5ヵ年)

年別 区分	S39年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
出動件数	145	10,322 (520)	9,403 (490)	10,346 (552)	10,950 (454)	11,571 (554)
搬送人員	119	9,625 (447)	8,576 (450)	9,411 (459)	9,962 (405)	10,363 (514)
1日平均件数	0.4	28.3	25.7	28.3	30.0	31.7

※ 昭和39年は7月から業務開始。

※ ()内は白糠支署の出動件数及び搬送人員。

表2 事故種別救急出動件数の全件数に対する割合

種別 区分	火災	自然 災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他				合計
											転院	医師	資器材	その他	
件数	37	0	14	364	73	45	1,520	21	112	8,187	1,129	0	0	69	11,571
割合	0.3%	0.0%	0.1%	3.1%	0.6%	0.4%	12.3%	0.2%	1.0%	69.4%	12.2%	0.0%	0.0%	0.6%	100%

表3 月別救急出動状況

月 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	1,023	809	835	842	942	883	1,022	1,161	935	995	961	1,163	11,571
搬送人員	917	713	755	761	864	802	930	1,028	838	877	855	1,023	10,363

表 4 曜日別救急出動状況

曜日 区分	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	合計
日数	52	52	52	52	52	52	53	365
件数	1,851	1,652	1,613	1,556	1,723	1,588	1,588	11,571
1日平均	35.6	31.8	31.0	29.9	33.1	30.5	30.0	31.7

表 5 時間別救急出動状況と急病の状況

区分	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
件数	492	433	475	877	1,392	1,554	1,341	1,270	1,176	1,022	852	687	11,571
急病	401	350	381	705	1,014	997	827	809	773	772	635	523	8,187

表 6 年齢別搬送人員状況

区分	新生児	乳幼児	少年	18～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	合計
人数	7	308	275	470	396	547	798	485	7,077	10,363
割合	0.1%	2.0%	2.7%	4.5%	3.8%	5.3%	7.7%	4.7%	68.3%	100%

* 年齢区分……新生児 → 生後 28 日未満の者
 乳幼児 → 生後 28 日以上～7 歳未満の者
 少年 → 7 歳以上～18 歳未満の者

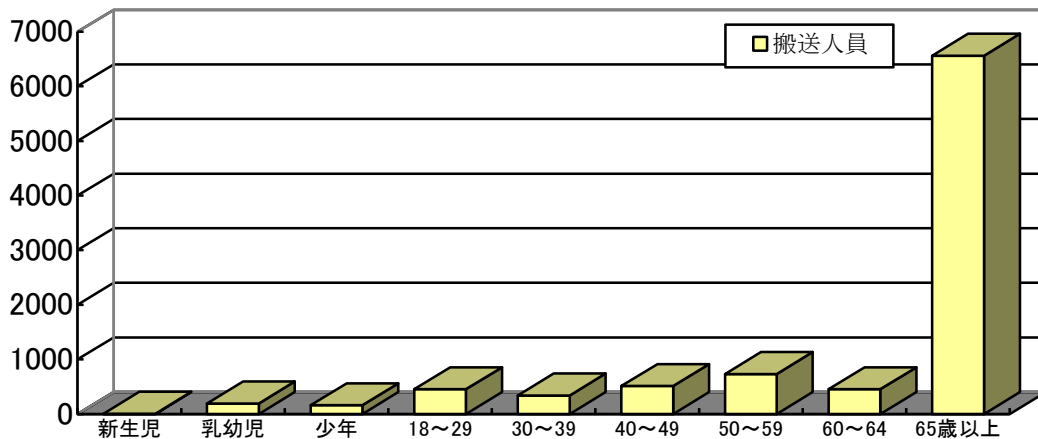


表 7 傷病程度別搬送人員状況

程 度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
搬送人員	261	840	5,227	4,035		10,363

※ 傷病程度区分

死 亡→初診時に死亡確認したもの

重 症→3週間以上の入院が必要なもの

中等症→入院が必要で重症に至らないもの

軽 症→入院を必要としないもの

その他→医師の診断が無いもの、医療機関以外へ搬送したもの

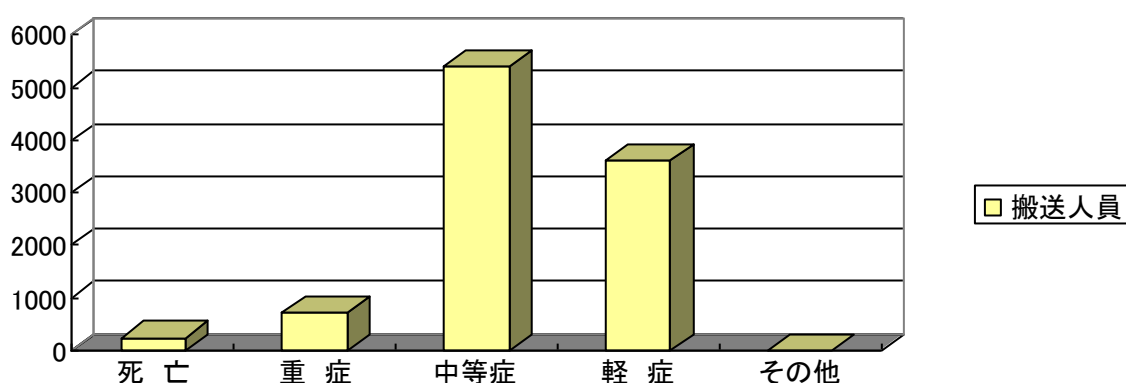


表 8 救急隊員が行った応急処置

応 急 処 置	件 数	応 急 処 置	件 数
止血・被覆	503	聴診	3,539
固定	275	血中酸素飽和度測定	10,099
人工呼吸のみ	52	心電図波形観察	4,939
心肺蘇生	282	除細動	29
酸素吸入	2,335	血糖測定	441
気道確保	388	器具を用いた気道確保（特定行為）	159
異物除去	7	静脈路確保（特定行為）	232
保温	53	薬剤投与（特定行為）	112
在宅療法継続	672	ブドウ糖投与（特定行為）	32
血圧測定	9,786	その他	10,253
合 計		44,188	

表 9 救命講習実施状況

区分	対象	消防職員	消防団員	事業所	町内会	自主防 災組織	学校関係	団体 グループ	その他	合計
		回数			1					
上級救命講習	人員			2					26	28
	回数		2	15		8	5		23	53
普通救命講習	人員		11	95		86	50		167	409
	回数			77		1	135	1	6	220
一般救急講習	人員			955		13	3,460	13	79	4,520
	回数							1		1
救命入門コース	人員							13		13
	回数	10							2	12
普及員・指導員 養成講習	人員	12							8	20
	回数			4				1	5	10
上級救命再講習	人員			5				9	8	22
	回数		2	50		5	3		10	70
普通救命再講習	人員		7	280		60	5		19	371
	回数			1					3	4
普及員再講習	人員			1					5	6
	回数	10	4	148	0	14	143	3	54	376
合計	人員	12	18	1,338	0	159	3,515	35	312	5,389

表 1 0 過去 5 ヶ年の救命講習実施状況の推移

区分	年				
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
実施回数	312	135	201	259	376
受講者数	6,453	1,668	3,517	3,643	5,389